



遠藤れい子ひまわりレポート

〇遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

「働きやすい環境を整えてほしい」と、医師・看護師確保対策課に要請 病院の院内保育所運営に支援を



11月26日 新潟県に要請を行う遠藤れい子(右)

11月26日、遠藤れい子前県議と鈴木映新潟市議は共産党を代表して、新潟県医師・看護師確保対策課に要請・懇談を行いました。県は医療従事者の働きやすい環境を整えるため、「病院内保育所の運営」に対して補助金を出し、病院は保育士の人件費に充てています。しかし、保育士の賃金はあまりにも低く、国でも問題となり、政府も保育士の処遇改善策をとらざるを得なくなったものです。

その結果、10月14日、厚

労省は「病院内保育所の人件費に係る地域医療介護総合確保基金の補助金単価を引き上げる」と通知しました。これまで病院内保育士は処遇改善の対象外でしたが、今回はそれも支援が必要だと判断したのです。申入れは、「この通知を生かして、病院内保育所の保育士の賃上げなど処遇改善が実現するよう、県は早急に予算化を図ること。県の要綱も改善すること」を要請しました。

担当課は、「今年度の実施は困難だ。来年度については、全体予算の中で検討する」との回答のみでした。

実態調査をして改善の道を見つけよと要望

遠藤れい子は、病院内保育士賃金の実態を調査すること。県の補助金制度で保育士の採用に成果が出ているかなどの実態の把握を行うこと。今回の厚労省通知を現場(病院)にも伝えて処

遇改善が進むよう働きかけること、を求めました。

【新潟県の実態】

新潟県が病院内保育所に補助金を出しているところは24ヶ所。内、地域医療介護総合確保基金(国3分の2、県3分の1)対象は18ヶ所。県独自補助は6ヶ所(公立・公的病院)です。

11月25日、県庁を包囲する人間の鎖行動は1200人を超えました。私は「原発再稼働の是非は県民に信を問え!」と発言しました。

知事は「県民に信を問う」と公約し当選しました。県議会が知事を選んだわけではあり

ません。選んだのは県民です! 県民投票条例案を否定し、原発を容認するなと許せません。

遠藤れい子の笑顔でファイト

県民投票条例案を否定し、原発を容認するなと許せません。

あまりにも非常識な知事の「容認」発言に抗議する



県民意識調査でも6割が「再稼働の条件は整っていない」と回答しています。再稼働の是非は県議会ではなく、県民に決めさせるべきです。



11月25日人間の鎖行動で発言する遠藤れい子「県議会でするな! 県民に信を問え!」